

関西出身、世界が注目する若きマエストロ&
ショパン国際ピアノ・コンクール2025ファイナリスト!



「指揮」岡本 陸

「ピアノ」進藤実優

21世紀 の 新世界

*From
the New World*

ショパン：
ピアノ協奏曲 第1番 ホ短調 op.11

ドヴォルザーク：
交響曲 第9番 ホ短調
「新世界より」 op.95

〔管弦楽〕関西フィルハーモニー管弦楽団

2027 **1/9** (土) 2:00pm 開演 (1:00pm 開場)

〔A〕5,500円 〔B〕4,500円 〔C〕3,000円 (消費税込)

■アスク プレイガイド
06-6222-1145 [10:00~17:30 (土日祝定休)]
■ザ・シンフォニー チケットセンター
06-6453-2333 (火曜定休)
■チケットぴあ <https://t.pia.jp/> [Pコード:330-759]
■ローソンチケット <https://l-tike.com/> [Lコード:53237]
■CNプレイガイド 0570-08-9990
■E+ (イープラス) <https://eplus.jp/>

■ABCぴあ (webで予約・購入)

ABCぴあ

検索

携帯サイトは
こちら▶▶▶

<https://abc-ticket.pia.jp/>

座席選択が可能! 24時間購入できる! クレジット決済も可能!!
メルマガで優先予約をご案内!! 1度登録すると次回予約が簡単!!

※未就学児のご入場はお断りいたします。※出演者、曲目、曲順はやむを得ない事情により一部変更になる場合がございます。予めご了承ください。

7/26(日) 発売

ザ・シンフォニーホール

主催/朝日友の会、ABCぴあ 後援/朝日新聞社 協力/ザ・シンフォニーホール

ABCチケットインフォメーション 06-6453-6000

[平日10:00~17:30] ※この番号では、チケットのご予約は承っておりません。

公演情報は、〈ABCクラシックガイド〉のホームページへ
<https://www.asahi.co.jp/symphony/>

お問い合わせ

21世紀の新世界

From the New World

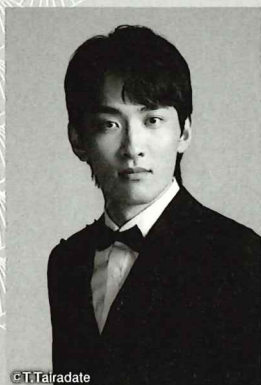
関西出身、世界が注目する若きマエストロ&ショパン国際ピアノ・コンクール2025ファイナリスト!

清々しい新年の空気の中、ザ・シンフォニーホールで音楽の“初感動”をお楽しみいただく「21世紀の新世界」。2025年、第4回ドラティ国際指揮者コンクールにて、最高位を受賞し、国際的な注目を集める指揮者・岡本陸を迎え、その緻密な音楽づくりと圧倒的な推進力で、関西フィルハーモニー管弦楽団に新しい息吹をもたらします。

前半は、2025年ショパン国際ピアノ・コンクールでのファイナリストとして世界で喝采を浴びるピアニスト・進藤実優が登場。お届けするのは、コンクールファイナルで披露したショパンの「ピアノ協奏曲第1番」。繊細でありながら力強いピアノの音色で、ショパンの内なる詩情を余すことなく描き出します。

後半は、ドヴォルザークの“新世界交響曲”。広大な大地への憧憬、郷愁を帯びつつも未来へ突き進む力強い鼓動を岡本陸が若い感性で描く新たな「新世界」にご期待ください。

今、最も注目を集める俊英たちが織り成すエネルギッシュな新年の舞台、若き才能が響き合う特別なひとときをぜひ会場でお楽しみください。



【指揮】 岡本 陸 *Riku Okamoto, Conductor*

2025年、第4回ドラティ国際指揮者コンクールにて、最高位(1位なし2位)を受賞し、国際的な注目を集める。2022年、第4回ブカレスト国際指揮者コンクールにて優勝。2025年、第12回トスカニーニ国際指揮者コンクールにおいて最終本選の12人に選出。これまでに、ハンガリー・ブダペスト響、イル・ド・フランス国立管、ブカレスト響、プロイェシュティ・フィル、ケチュケメート響、Siamo Orkest、ヴァーサ市響、都響、東響、新日本フィル、山響、群響、OEK、静響、中部フィル、日本センチュリー響、神戸室内管、岡山フィルなどを指揮。今後、ハンガリー・ブダペスト響との再共演、リッチモンド響、マルキジャーナフィル、読響、東フィル、札幌、仙台フィル、名フィル、大阪フィル、大阪響、関西フィル、京響、広響、九響との共演が予定されている。1998年滋賀県生まれ。3歳よりヴァイオリンを始める。11歳よりスーパーキッズ・オーケストラに入団し、以来佐渡裕氏の薫陶を受ける。洛星高等学校を経て、東京音楽大学音楽学部作曲指揮専攻(指揮)に特別特待奨学生として入学。同大学卒業後は渡欧し、ウィーン、ヘルシンキにて研鑽を積む。指揮をヨルマ・パヌラ、広上淳一、田代俊文、増井信貴、三原明人、米津俊広の各氏に師事。ジョン・アクセルロッド、マーク・ヘロン、ボリス・ベルキン、汐澤安彦、徳永二男、ジン・ワンの各氏による指揮マスタークラスを受講。2024年、東京・春・音楽祭において、リッカルド・ムーティ氏によるイタリア・オペラ・アカデミーを受講。2021-2022年で京都市ジュニアオーケストラの副指揮者を務め、現在はスーパーキッズ・オーケストラの副指揮者を務める。2024年、山田和樹氏がモンテカルロ・フィルハーモニー管弦楽団の日本ツアーのアシスタント指揮者に選出。ツアー千秋楽のアンコールでは、同オーケストラを指揮した。



【ピアノ】 進藤実優 *Mitsu Shindo, Piano*

2002年生まれ。愛知県大府市出身。第19回ショパン国際ピアノコンクール(ポーランド)ファイナリスト。ヴァーゴ市国際ピアノコンクール(スペイン)第1位及び聴衆賞受賞。キッシンガー国際ピアノオリンピック(ドイツ)第3位及び聴衆賞受賞。第45回ピティナ・ピアノコンペティション特級ファイナル銀賞及び聴衆賞受賞。北京青少年ショパン国際ピアノコンクール(中国)シニア部門第3位。NHK-FM「リサイタル・パッシオ」、「ベストオブクラシック」、NHK BSP「クラシック倶楽部」等多数のメディアに出演。第38回霧島国際音楽祭にて、ダン・タイ・ソン氏に推薦され霧島国際音楽祭受賞。これまでに第75回マントン音楽祭(フランス)、第41回霧島国際音楽祭をはじめ、カーネギーホール(ニューヨーク)、チャイコフスキーコンサートホール(モスクワ)、モスクワ音楽院大ホール(モスクワ)、オーストリア、イタリア、アメリカ、ロシア、中国、ドイツ、スペイン、フランス、スイスにて演奏。読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、群馬交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、北京中央音楽学院交響楽団、ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団、セントラル愛知交響楽団などと共演。江副記念リクルート財団第53回奨学生。2018年よりモスクワ音楽院付属中央音楽学校(ロシア)にて学び、2021年卒業。2022年4月よりハノーファー音楽演劇メディア大学(ドイツ)在籍。4歳よりピアノを始め、現在アリエ・ヴァルディ氏に師事。またこれまでにヴァレリー・ピアセツキー、杉浦日出夫、二宮裕子、関本昌平、本村久子、細野真由美の各氏にも指導を受ける。

【管弦楽】 関西フィルハーモニー管弦楽団 *Kansai Philharmonic Orchestra*



1970年発足、2018年公益財団法人化。2025年楽団創立55周年を迎えた。関西を代表するオーケストラの一つとして積極的に活動が続けている。2025年4月より、藤岡幸夫が総監督・首席指揮者に就任し、新たな指揮者陣体制で臨む。鈴木優人が首席客演指揮者、リオ・オウクマンがアーティスティック・パートナー、世界的ヴァイオリニストでもあるオーギュスタン・デュメイが名誉指揮者に就任。永久桂冠名誉指揮者に故飯守泰次郎(2023年没)。東大阪市と「文化芸術のまち推進協定」を、門真市と「音楽と活気あふれるホームタウンパートナー協定」を結ぶなど、地元関西の人々や企業に育まれた楽団として地域密着を重視。関西出身の若手アーティストも積極的に起用し、クラシック音楽の裾野を広げる活動など、常に新たなことに挑戦する個性派オーケストラとして好評を博している。2021年度に飯守泰次郎×関西フィル「ワーグナー特別演奏会」が、2022年度に山田和樹×関西フィルほか大阪4楽団「シューベルト交響曲全曲演奏会」が音楽クリティッククラブ賞本賞を受賞。2023年10月にはベルギー、フランス、ドイツの3カ国3都市を巡る楽団2度目の欧州公演を開催、各地で大きな注目を集めた。BSテレ東の音楽番組「エンター・ザ・ミュージック」(毎週土曜朝8:30)に藤岡幸夫と共に出演中。

オフィシャルホームページ <https://www.kansaiphil.jp/> X(旧Twitter)アカウント @kansaiphil